

運営方針

「安全・安心のまちづくりを目指して」  
 災害や大規模事故等より、市民の生命と財産を守るため、安全・安心に暮らせるまちを築く危機管理対策の強化に取り組みます。  
 また、大規模災害に備え、地域防災計画の改定を行うとともに、受援計画や業務継続計画などの策定を行います。また、避難所にマンホールトイレを年次計画的に設置します。  
 さらに、防災・防犯活動をはじめ、様々な地域課題に取り組む自治会や、自治会を基盤とした地域まちづくり協議会への支援を通じ、コミュニティの活性化を図るとともに、市民と行政が方向性を共有し、相互理解を深めることにより、協働のまちづくりを進めます。

重点施策

地域防災力の強化

めざす方向

大阪府地域防災計画の改定に伴い、現在の地域防災計画に定めている内容を精査し、計画の改定を行うとともに、受援計画や業務継続計画などの策定も併せて行います。  
 また、避難所へのマンホールトイレ設置計画をすすめます。



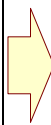
災害時行動力の強化

河内長野市避難所運営マニュアルを基に各避難所毎のルールを地域の方々と作成し、スムーズな避難所開設、運営のための地域別避難所運営マニュアルの作成を進めるとともに、出前講座や避難所運営訓練などを通して、地域全体の防災力の向上を図ります。  
 各種ハザードマップについては、人的被害の軽減を図るため、行政と住民等とのリスクコミュニケーションツールとして有効活用していきます。

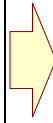


大阪一犯罪の少ないまちづくり

犯罪のない明るく住みよいまちづくりを進めるため、市民とともに防犯協議会や警察との更なる連携強化を図り、防犯意識の向上と犯罪状況に応じた防止策を行います。  
 犯罪状況に応じた防止策を推進し、より犯罪への抑止力を高めるため、防犯カメラを設置します。  
 また、自治会への防犯カメラの設置補助を継続し設置促進を図り、大阪一犯罪の少ないまちをめざします。



地域コミュニティや市民公益活動の活性化及び協働の促進



地域の多様な担い手の連携により地域課題の解決を目指す「地域まちづくり協議会」について、それぞれの地域特性に合った取組みが推進されるよう人的及び財政的支援等を行います。また、モデル地区を選定して、大学との連携による新たなまちづくりに取り組みます。

地域の基盤である自治会への情報提供や資金補助など、自治会ニーズに合った効果的な支援を行うことで、自治会活動の活性化を図ります。

市民公益活動の活性化をめざし、市民公益活動支援センター（るーぷらざ）事業の充実を図ります。

市民と行政が相互理解を進め、役割分担のもと協働関係が築けるよう、庁内連携を図りながら、協働事業促進の仕組みづくりや方策について検討を進めます。